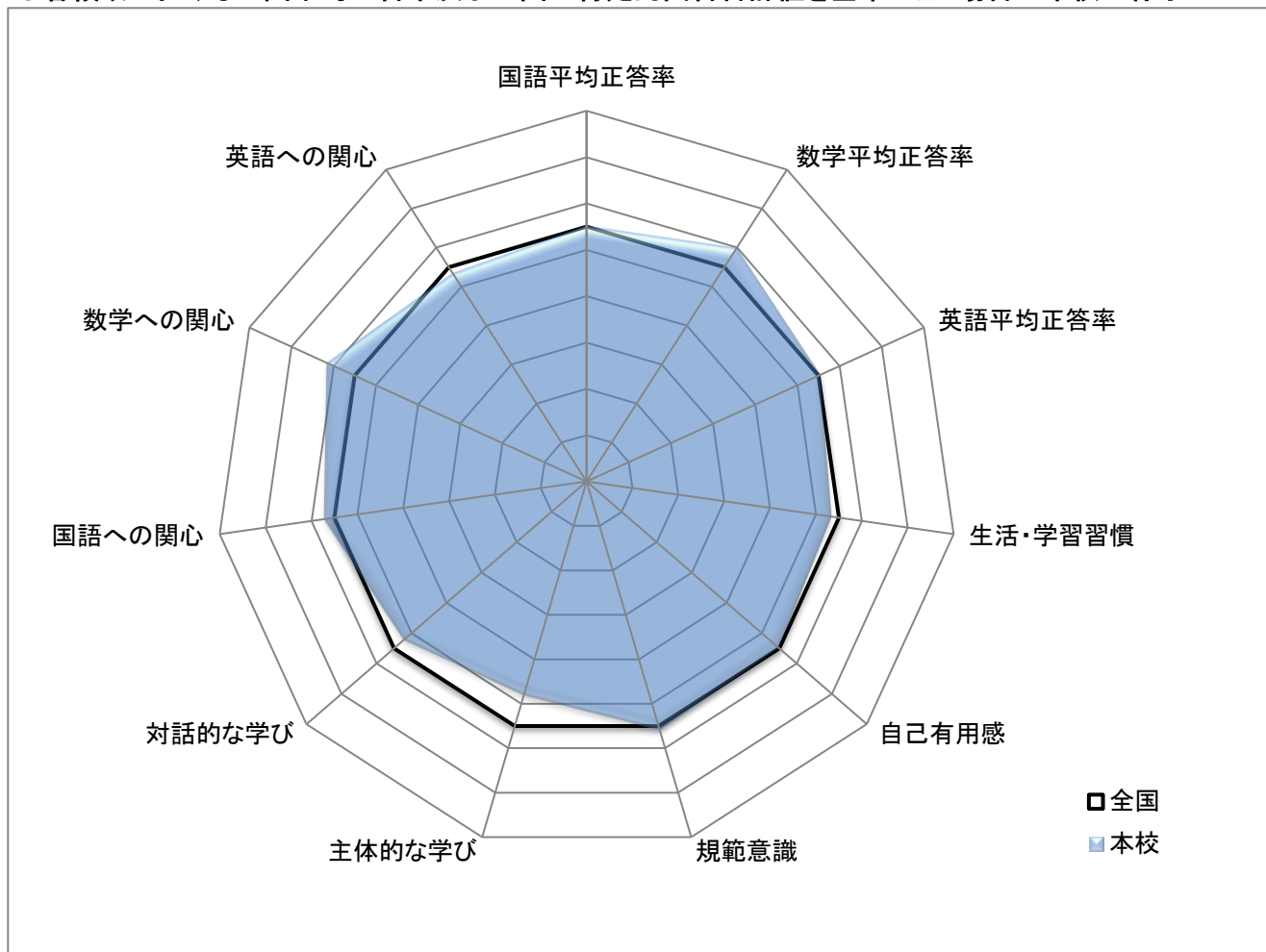


●各領域における全国平均正答率及び全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の本校の様子



《チャートの特徴及び現状把握》

全国の結果と比較すると、
 ○【国語への関心】は+3.5ポイント（国語平均正答率）は+0.2ポイントだった。
 ○【数学への関心】は+9.5ポイント、【数学平均正答率】は+5ポイントだった。
 ○【英語への関心】は-2.3ポイント、【英語平均正答率】は+0.4ポイントだった。
 ○【主体的な学び】は-10.3ポイントで、特に「総合的な学習において自分で課題を立て、情報収集・整理、調べたことを発表する学習活動への取組」が-20.5ポイントだった。
 ○【対話的な学び】は-4.4ポイントで、特に「学級活動において、互いの意見の良さを生かして解決方法を決める取組」が-12ポイントだった。一方、「1・2年の授業で、自分の考えを発表する機会において、自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表した」は+3.9ポイントだった。
 ○【生活・学習習慣】では、「朝食を毎日食べていますか」は-2.9ポイント、「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」は-7.8ポイント、「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」は+1.3ポイント、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」は-0.8ポイントだった。
 ○【自己有用感】では、「自分にはよいところがあると思いますか」は+0.8ポイント、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」は-1.2ポイント、「将来の夢や目標を持っていますか」は-0.4ポイントだった。
 ○【規範意識】では、「人が困っているときは、進んで助けていますか」は+4.4ポイント、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」は-1.9ポイント、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」は+2.2ポイントだった。

《授業等の改善方法》

- ▶ICT機器を活用する。
- ▶ペア・グループによる話し合い活動、学びあいの機会を増やす。
- ▶プレゼンテーション（課題設定、情報収集・整理、発表する）の機会を増やす。
- ▶生徒同士が意見を出し合い、互いの良さを生かせるような話し合いの機会を設ける。
- ▶朝食摂取や睡眠等、生活習慣に関する保健指導を行う。
- ▶学習時間のフィードバックを行い、家庭学習への意識づけを行う。
- ▶生徒のよさを認め、教職員から意識的に感謝を伝えたり、褒める声掛けをする機会を増やす。